

文教厚生委員会視察研修報告

- 日 時 平成 28 年 7 月 6 日（水）～7 月 8 日（金）
- 研修先 富山県射水市 【子どもの権利支援センター】
【子育て支援隊】
- 新潟県糸魚川市 【0 歳から 18 歳までの子ども一貫教育】
- 新潟県三条市 【スマートウェルネス三条推進事業 健康づくり施策
（生活習慣病、介護予防、認知症予防の充実について）】

文教厚生委員会では、子育て支援及び教育環境について調査研究し、市にとって望ましい施策を提言することとしている。その調査として、関連する子育て支援などの先進地を視察した。

富山県射水市 「子どもの権利支援センター」 「子育て支援隊」

「子どもの権利支援センター」は、子どもの安心できる居場所を提供し、同じ気持ちの仲間と出会うことで少しずつ元気になっていけるよう支援する施設。子どもの権利条約の理念に基づき、「射水市子ども条例」が制定されている。

当施設はNPO法人が運営しており、理事長が精神科医であり、専門家として臨床心理士も無料相談を行っているとのことで、運営の体制づくりができています。教育委員会で行っている適応指導教室とは違った形で支援されている。

子育て支援隊は、特技を持った市内の団体・個人が登録し、要請があれば出向くという制度。子育て情報誌への活動報告の掲載や、団体紹介のカレンダー作成など、市民への周知が徹底されている。

新潟県糸魚川市 「0 歳から 18 歳までの子ども一貫教育」

糸魚川市の一貫教育の特徴は、0 歳から高校生まで、成長過程に応じ、連続性を重視した豊かな心、健やかな体の成長、確かな学力の育成を家庭、地域、園、学校それぞれの役割を果たした交流・連携のもと実践し、地形・地質・火山などの地域の特徴を生かした「ジオパークのまち」を核にして地域が一体となったソフト面での一貫教育であり、地域愛が育まれる教育である。

早寝・早起き・おいしい朝ごはん運動により、「毎日朝ごはんを食べている」割合が全国平均より高く、品数の多い朝ごはんとなっている。

また、「学校に行くのが楽しい」「地域の行事に参加する」割合も全国平均より高い。

新潟県三条市 「スマートウェルネス三条推進事業 健康づくり施策 （生活習慣病、介護予防、認知症予防の充実について）」

超高齢化社会を見据えた街づくりであり、超高齢化に向け誰もが明るく、楽しく、元気に健康で幸せに長生きできる街を目指している。

「三条マルシェ」という、商店街を核とした賑わいを創出し、高齢者などが歩き出す

機会と子育て世代・若者を中心に新たな参加者が増加した。また、参加者による多発的、自発的な新展開を見せ外出頻度が向上するとともに賑わい活性化が図れている。

子どもを大切にする取り組み、地域の特徴を生かした一貫教育、健康長寿への取り組みなど、大変参考になった視察でした。

委員会としてこれらを参考に、牧之原市に合った政策提言に結びつけていきます。



富山県射水市
子どもの権利支援センターでの研修風景



新潟県三条市役所での研修風景